

# 一本から歯の 成長と保存を 深く考える

*Skill improvement seminar*  
**2024**

第1回「歯内療法における潮流を日常臨床にとりいれよう！①」

現地開催：2024/06/27（水） オンデマンド配信7/8(月)～8/21（日）

第2回「歯内療法における潮流を日常臨床にとりいれよう！②」

現地開催：2024/08/22（水） オンデマンド配信9/2(月)～9/15（日）

第3回「小児から成人まで歯を守る日常臨床を振り返ろう」

現地開催：2024/10/5（土） オンデマンド配信10/15(火)～10/21（月）

# 一本から歯の成長と保存を深く考える

Skill improvement seminar  
2024

第3回

2024/10/

5土

15:00~19:00 at 福岡県歯科医師会館視聴覚室

オンデマンド配信

2024

10/15(土)~21(日)

## 女性歯科医師からの提言

小児から成人まで歯を守る日常臨床を振り返ろう

福岡県歯科医師会館視聴覚室での現地開催および、  
後日2週間のWEBオンデマンド配信

歯科治療においては一人の患者が長期的に通院することも多くあり、子供の頃から予防プログラムを開始することは重要であり、また1本の歯の診断が将来の口腔環境を大きく左右すると言っても過言ではない。

今回は、基本的な処置から保存が難しい歯への対応について新しい治療方法を含め解説していただきます。

臨床経験の浅い先生含め、現在の臨床を学び直すいい機会となりますので是非参加していただきたいと思います。

講師

福岡歯科大学 成長発達歯学講座  
成育小児歯科学分野 教授

岡 暁子 先生



Lecturer introduction

Kyoko Oka

演題

### 第一大臼歯の発生から萌出までを考える

健全な永久歯を獲得するためには、永久歯萌出前の口腔環境、全身の健康が重要である。本講演では、歯列咬合の要となる第一大臼歯の発生から萌出、歯根完成までのプロセスを阻害する要因に触れ、臨床における対応法について解説を行う

講師

よしむら歯科医院 副院長

吉村 理恵 先生



Lecturer introduction

Rie Yoshimura

演題

### 臨床に矯正治療を取り入れて ワンランクアップ！

日常臨床において、患者の主訴を改善し長期安定性を獲得するためには、主訴の部位の治療のみならず、一口腔単位での治療が必要なケースに遭遇することも少なくない。また、1本の歯を治療する際にも、この歯が悪くなった原因はもともと歯列不正なのでは？と思わせる症例もある。長期症例を振り返り、GPとしてどのように矯正を臨床に取り入れ活かしていったら良いかをお伝えしたい。

講師

福岡歯科大学 口腔治療学講座  
歯科保存学分野 教授

松崎 英津子 先生



Lecturer introduction

Tsukiko Matsuoka

演題

### 根面う蝕のマネジメント

高齢者における根面う蝕の増加は、現在の歯科医療の課題となっています。根面う蝕への対処におけるキーワードは「マネジメント」であると考えます。本講演では、診断、診療ガイドラインに沿った初期根面う蝕の非切削でのマネジメント、根面う蝕の切削修復治療などの視点から根面う蝕にアプローチします。

座長

坂口歯科・矯正歯科 院長

坂口 佳代子 先生



Chairperson

Kayoko Sakaguchi

第1回 2024  
6/27(木)

① 歯内療法における潮流を  
日常臨床にとりいれよう！

19:30~21:45  
at 福岡県歯科医師会館視聴覚室

オンデマンド配信

2024年7月8日(月)~21(日)

第2回 2024  
8/22(木)

② 歯内療法における潮流を  
日常臨床にとりいれよう！

19:30~21:45  
at 福岡県歯科医師会館視聴覚室

オンデマンド配信

2024年9月2日(月)~15(日)





# 1.第一大臼歯の発生から萌出までを考える

福岡歯科大学 成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野 教授  
福岡歯科大学 医科歯科総合病院 小児歯科 科長  
小児口腔外傷センター センター長  
岡 暁子先生

第一大臼歯の歯胚は、胎生10～12週ごろに形成が始まる。歯冠の石灰化は出生時ごろに開始し、完了するまでには実に2年半から3年の年月を要する。つまり出生から3年間は、歯の石灰化に影響するような要因が身体に生じた場合、第一大臼歯の象牙質やエナメル質は十分な石灰化を遂げることができず脆弱になってしまうリスクがある。健全な永久歯を獲得するためには、永久歯萌出前の口腔環境、全身の健康が重要であるということである。近年、Molar Incisor Hypomineralization (MIH)という第一大臼歯と切歯に局限したエナメル質形成不全が注目され、その原因解明と形成不全となった歯質への修復法の開発が重要となってきた。本講演では、発生から歯根完成までに10年もの年月が必要な第一大臼歯に着目し、我々が臨床で行っている形成不全や萌出障害への対応についてご紹介したい。

## 【略歴】

1997年 九州大学歯学部卒業  
2001年 九州大学大学院歯学研究院修了（歯学博士）  
2001年 九州大学歯学部附属病院 研修医  
2003年 九州大学歯学部附属病院 医員  
2004年 南カリフォルニア大学 歯学部 研究員  
2007年 九州大学病院 小児歯科 医員  
2008年 日本大学歯学部解剖学第2 講座 専修研究員

2009年 福岡歯科大学 生体構造学講座機能構造学分野 医員  
2010年 福岡歯科大学 生体構造学講座機能構造学分野 助教  
2011年 福岡歯科大学 成長発達歯学講座成育小児歯科学分野 講師  
2015年 福岡歯科大学 成長発達歯学講座成育小児歯科学分野 准教授  
2022年 福岡歯科大学 成長発達歯学講座成育小児歯科学分野 教授  
現在に至る



デンチャー クラウン 矯正装置 ...etc.



『お得意先の繁栄に責任を持つ』

九州の歯科医療と共に半世紀  
利ある歯科ディーラー像を追求します。





## 2. 臨床に矯正治療を取り入れてワンランクアップ！

よしむら歯科医院 副院長 吉村理恵 先生

日常臨床において、患者の主訴を改善し長期安定性を獲得するためには、主訴の部位の治療のみならず、一口腔単位での咬合治療が必要なケースに遭遇することも少なくない。また、1本の歯を治療する際にも、この歯が悪くなった原因はもともと歯列不正なのでは？と思わせる症例もある。

1本の歯を守るためには、予防、修復、エンド、ペリオ、補綴とさまざまなテクニックが必要であるが、それだけでなく一口腔単位で診て、生体との調和を図りながら機能性、審美性、恒常性を追及する治療を行う必要がある。そのようなケースでは、矯正治療により歯のポジションや顎位を改善することが必要になってくることが多い。

私自身臨床40年を迎え、予防、エンド、ペリオ、矯正、インプラント、 歯冠補綴、義歯など、おかげさまで沢山の患者様と関わってくることが出来た。

長期症例を振り返り、GPとしてどのように矯正を臨床に取り入れ、活かしていったかをお伝えすることが出来ればと思う。

### 【略歴】

1983 福岡歯科大学卒業

1986 東京中島矯正歯科勤務・東京高松歯科勤務・福岡歯科大学矯正科研修医・各地歯科医院勤務

1987 太宰府市にて院長と共に開業

2012 歯学博士 学位取得

日本歯周病学会会員

日本審美歯科協会会員

スタディグループW.D.C 会長

京セラ（インプラント）公認インストラクター

経基臨塾会員

OJ（Osseointegration study club of Japan）正会員

ICCMO（国際学頭蓋機能学会）会員

ICOI（国際口腔インプラント学会）認定医

IPOI（近未来オステオインプラント学会）認定、インプラント指導医

### 【所属】

日本顎咬合学会認定医

日本歯周病学会専門医

日本臨床歯周病学会 歯周病専門医 歯周インプラント認定医

## 株式会社 Teclock 歯科医院の総合支援サービス

Teclock(テックロック)なら、歯科医院・クリニックの運営から集客、効率化にわたりすべての側面から包括的なご支援が可能です。

### オリジナルホームページ制作

長年培った歯科医特化の実績とノウハウで効果の高いホームページのご提案から制作までをサポートします。

### Google口コミ対策

Googleマップで検索した際に、医院の表示が目立つ＆管理がしやすいようサポートします。地域に根ざす歯科医院には必須のサービスです。

### LINE公式アカウントサポート

医院専用のLINE公式アカウントの開設から設定、効果的な運用までトータルサポートが可能です。

### 決済端末

ペイメントサービスは、圧倒的な低決済手数料が売りの決済です。医院への決済端末導入もお任せください。

### UTM

ウイルス対策ソフトだけでは阻止出来ない脅威を防御。日報配信により見える化も実現。

### セキュリティカメラ、新電力

配線や供給元は変えずに、ご契約元を変えることで、コスト削減が可能です。



クリニックの課題に合わせ  
適正なコストで広告運用をサポート





### 3. 根面う蝕のマネジメント

福岡歯科大学 口腔治療学講座 歯科保存学分野 教授  
松崎 英津子 先生

いつまでも大切な自分の歯で噛めるように治療を行い、その歯をお口の中で機能させていくのが「歯科保存治療」です。人生100年時代に突入したわが国では、8020運動の達成により国民のQOLは向上しています。一方で、高齢者の「根面う蝕」は増加しており、現在の歯科医療における課題のひとつにあげられます。歯根面は、エナメル質と比較して耐酸性が低いためう蝕に罹患しやすく、また、う蝕病変の辺縁や深度も不明瞭な病態を示すため、診断や処置に迷う場面も少なくありません。根面う蝕への対処におけるキーワードは、近年のMIDに関する声明にも含まれている「マネジメント」であると考えます。本講演では、診断、診療ガイドラインに沿った初期根面う蝕の非切削でのマネジメント、根面う蝕の切削修復治療などの視点から根面う蝕にアプローチします。臨床場の疑問を解決する一助となれば幸いです。

#### 【略歴】

- 2000年 長崎大学歯学部卒業
- 2006年 九州大学大学院歯学府 博士課程修了  
九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座 助手
- 2007年 九州大学病院口腔機能修復科 助教
- 2014年 福岡歯科大学口腔治療学講座歯科保存学分野 講師
- 2020年 福岡歯科大学口腔治療学講座歯科保存学分野 准教授
- 2022年 福岡歯科大学口腔治療学講座歯科保存学分野 教授  
福岡歯科大学医科歯科総合病院 保存・歯周病科 科長
- 2023年 福岡歯科大学口腔治療学講座 主任教授

実績と信頼  
折り紙付き。



アサヒメタルアカウントシステム

SDGs 取組 実施

アサヒプリテックは、金属資源のリサイクル事業の分野で、独自技術により皆様から絶大な信頼をいただき、業界No.1のシェアを実現しています。また、お預かりした金属の分析から売却までをWeb上で安全に運用できる「アサヒメタルアカウントシステム」の提供など、貴金属リサイクルをトータルでサポート。歯科業界における資源循環サイクルを実現しています。



アサヒプリテック株式会社

貴金属事業部 / 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー11F  
TEL:03-6270-1820 FAX:03-6270-1825 URL:https://www.asahipretec.com/

営業所 札幌・青森・仙台・新潟・北関東・関東・横浜・甲府・静岡・名古屋・北陸・神戸・岡山・四国・福岡・鹿児島・沖縄



株式会社 愛歯

アサヒプリテック株式会社

医療共済会

京セラ株式会社

株式会社Tecklock

株式会社ノーザ

福岡デンタル販売株式会社

しっかりとした安心を。

- 医師賠償責任補償制度
- 休業補償制度
- 各種補償制度
- 学術講演会
- 弔慰金制度

医療共済会

フリーダイヤル 0120-351-153  
名古屋市中川区山王一丁目7番地24号 山王ビル

ホームページで  
簡単!  
資料請求!!

<http://www.ikyousai.jp>

医療共済会

検索

新製品登場!

歯科用総合コンピュータシステム

clevia

— クレヴィア —

新たな賢さ 新たな舞台へ



Always New

※画像はイメージです。

株式会社 ノーザ 福岡支店

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 3-1-1 ZENNO 筑紫通ビル 8F  
TEL: 092-474-1777 FAX: 092-474-4186  
WEB: <https://www.nhosa.com/>

※製品や画像の色調は実物と異なる場合があります。※記載内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。

各回における質問とアンケートは→のQRコード先のフォームよりお送りください。

1. 質問は各回の配信終了後1週間後に締め切ります。
2. 回答はご登録いただいたメールに送ります。
3. すべての質問にお答えできるとは限りませんことをあらかじめご了承ください。
4. 質問以外のアンケートにもぜひご協力ください



この度は、福岡歯科大学同窓会主催 2024年度学術講演会にご参加いただき、誠にありがとうございました。今年度も多くの先生方にお申し込みいただけたことを大変嬉しく思います。皆様に明日からの臨床に役立つ知識と情報をお届けできますことを心より願っております。また、ご支援いただいた協賛企業の皆様、関係者の皆様にも深く感謝申し上げます。今後もさらなる学びと交流の機会を提供できるよう、努めて参りますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

福岡歯科大学同窓会  
副会長 上田秀朗  
学術委員長 松永興昌



福岡歯科大学同窓会

〒814-0093福岡市早良区田村2丁目15-1

☎:(092)863-2966 [academic@fdc-dousou.com](mailto:academic@fdc-dousou.com)

<http://www.fdcnet.ac.jp/col/collink/alumnus/>